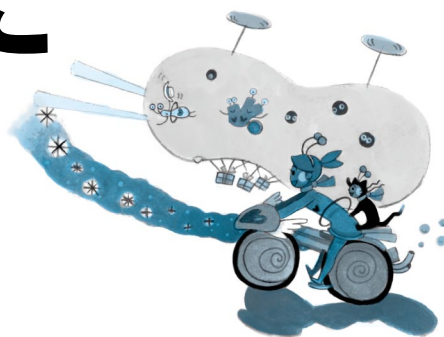


「複数受け持ち」 実習をより 効果的に



「臨床現場により近い環境での実習を」と設けられた統合実習。そのなかで、夜間実習、管理実習と並んで取り組まれている複数受け持ち実習は、統合実習がカリキュラム化される前から、さまざまな工夫をもって取り組む学校が少なくありませんでした。しかし、夜間や管理に比較するとやりやすい実習ですが、効果を上げるには工夫が必要です。

今回は、複数受け持ち実習に関して、より興味深く、効果的な取り組みを行っている学校にその準備や経過、結果などを報告していただき、他校での一層の工夫の参考となることを期待した内容になっています。

複数受け持ち実習をより円滑に運ぶためには、今まで以上に臨床現場との綿密な連携が必要です。その連携は領域別実習にも反映されることでしょう。